

第29回 豊済会職員研修会

2019年10月6日(日)池袋ホテルメトロポリタンにて、「第29回職員研修会」を行いました。豊済会3施設より98名の職員が出席しました。

今回のテーマは「医療安全と災害対策」です。

1,開会挨拶 豊済会 理事長 菊地勘先生

菊地理事長より「災害対策について」のお話がありました。

全国の透析患者さんの25%が関東圏で透析をうけており、その中でも最も患者数の多い東京都の災害対策は非常に大切です。東京都では透析施設同士のネットワークを構築していて、電力会社、水道局、保健局とも連携して、より具体的で機能的なシステムが考えられています。



←2018年12月に立ち上げられた Google マップを使った DIEMAS(緊急時透析情報共有システム)です。平常時から施設情報を載せており、災害時には災害情報を載せて情報を共有します。

→システムがちゃんと機能するか、不足はないかチェックする為毎月のように訓練を行い、より細かく修正をしているそうです。



2、学会報告

第64回日本透析医学会学術集会・総会

2019年6月28日(金)～30日(日)パシフィコ横浜

透析医療に関わる医療機関が一堂に会する透析医学会において、豊済会の代表として8名が発表を行いました。

- (1) ①下落合 天野技士「製造時期によるヘモダイアフィルタの溶質除去能の違い」
②ときわ 関技士 「患者のABI・SPP を用いた下肢スクリーニングの3年評価」
③下落合 原嶋技士「災害に対する当院の取り組みについて」
④下落合 城栄養士「2017年我が国の慢性透析療法の現況統計調査結果と当院の比較検討」



- (2) ⑤境南 涌井看護師「腎移植を知る～境南クリニックの取り組み～」
⑥下落合 今枝看護師「慢性透析患者における足白癬・爪白癬の有病率」
⑦ときわ 荒金技士 「穿刺時疼痛緩和に向けた聞き取り調査」
⑧下落合 伊藤技士 「LDL アフェレシスを施行して下肢救済可能であった2症例」



(1)座長 ときわ 大塚院長



(2)座長 境南 井上先生&鶴田板橋クリニック鶴田先生



3、教育講演

「医療の安全とチーム医療

～多職種で防ぐ透析室のインシデント～

東京女子医科大学病院 医療安全科 教授 寺崎仁先生

ミスを防ぐには、様々な考え方、方法があると知りました。

医療は多職種が関わる場なので、事故をチームで未然に防いでいくことが大切です。適切なシステム設計やヒューマンエラーを減らす努力も重要ですが、チームマネジメント能力や権威勾配も適度であることが必要と学びました。



また、「ポカヨケ」という言葉を教えて頂きました。「道具に工夫をして人間のポカミスを防ぐ」考え方です。気を付ける、には限界があります。物理的に絶対的に気が付く仕組みを作る、対策をする、というポカヨケは医療の現場にも必要であり、とても有効だと感じました。



本日の講演を明日からの仕事に活かせるように、努力して参ります。
ご多忙の中、貴重な講演を賜りまして、誠にありがとうございました。

座長 菊地理事長



4、閉会挨拶

豊済会 会長 井上篤先生



5、最後に

ご多忙の中、今年もカメラマン、座長と大活躍してくださった鶴田板橋クリニックの鶴田先生、ありがとうございました。

年に一度、全職員が集まるこの研修会ですが、テーマはアンケートを実施して一般職員の意見を基に決められています。今年のテーマの災害対策、医療安全は職種問わず必要な知識であり、とても有意義だったと感じます。毎年、貴重な勉強の場を与えて頂き、ありがとうございます。

豊済会職員一同、より一層の努力を続けてまいります。